

# 2018 SGH通信

【2年生配布用】

No.2 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## SGHで身に付けた力を発揮してみませんか？

いよいよSGHも2年目となり、順調にスタートしたことだと思います。これまで皆さんは、多くの素材をテーマに探究活動に取り組んできました。ここで改めて北高のSGHで身に付けるべき力を再確認してみましょう。

- ① 課題発見力・課題設定力を持ち、他者と協力して課題解決することができる生徒
- ② 論理的思考力・表現力を身に付け、多面的かつ総合的な視野を持つ生徒
- ③ 高度な英語コミュニケーション能力を身に付け、外国人と積極的に関わることができる生徒

さて、これまで皆さんは授業の中でクラスメイトを中心にディスカッションし、まとめた論文を発表してきましたが、この力を別の高校生の仲間と発揮してみませんか。また、今まで身に付けた探究の手法を外で試してみませんか。もしくは、実際に課題解決のために出した結論を外で発表してみませんか。そんな心強い意志を持った皆さんを歓迎します。勉強や部活動では味わえない新たな感動をSGHで体感してみませんか。今年は通信の中で、そうした自分の力を発表できる機会を紹介します。紹介するイベントは北高として出場しますので、何か高校生活に1つ鮮やかな足跡を残したいという場合は、積極的にチャレンジしてください！

【 紹介イベント1 】

「 スーパーハイスクールセッション（SSS） 」

主催：岐阜県教育委員会 岐阜大学

【 内容 】

県内のスーパーハイスクール12校から生徒が集まり、「岐阜県の活性化」について話し合い、解決策を提案する。

岐阜大学の教員や学生の助言を受けながら企画書を作成し、プレゼンを行う。

【 日時 】

平成30年6月17日（日） 7月8日（日） 8月2日（木） 8月21日（火） 計4日間

時間 10:00～15:30 4回とも出席がのぞましい。

【 場所 】

今年度は未定（ 昨年度実績：岐阜大学 ） 交通費支給

皆さんは、1年生のSGHの中で、「岐阜県の課題」を見つけ、その原因を探り、解決策を出しました。また、その後仮説（解決策）の検証のための手段（インタビュー）や、探究の手法として、現状→原因→解決策の手順も学んできました。こうして得たノウハウを是非、実際に役立てたいという人、そして岐阜大学を希望している人は、学生の実際の学びの場で体験ができます。君たちの意欲に期待しています！

昨年度の様子・プレゼン内容

3 班 バス事業の現状～高齢者が利用したくなるバスへ～

\*バス会社への取材で、バスを増発することは難しいこと、バス車内やバス停付近の環境整備には限度があることが分かった。

\*高齢者の利用を増やすために、福祉施設などでバスに関する講習会を開催する。バスの乗り方や運転免許返納者に対するバス料金半額等の制度の説明を行う。回覧板の利用も有効である。

\*バスの時刻表も、文字の大きさや色使いを変えるなど、より見やすくなるよう改良が必要。

\*高校生は、これらの解決策をバス会社に提案する。

【質問】

Q. 自分で運転したい高齢者に対してはどのような対策をとるか。

A. 家族が促すことが必要。岐阜県としてもそれを推奨することは悪い面ばかりではないと思う。

Q. 高齢者は料金が半額になることもあり、バス会社の利益は少ないのではないか。

A. バス会社に確認したが、売り上げは少ししか下がらなかったとのことだった。利用者を増やすことで、割引をしても利益は得られると思う。



5 班 産校イノベーション 食と人から岐阜を知る

【発表概要】

\*産校舎を利用し、給食カフェを開く。地元のお年寄りが、地元の素材を使ってその土地に根付いた料理を作り提供する。校舎内で、岐阜県の伝統的な行事や産業を紹介する。グラウンドや体育館

館を利用して、季節のイベントや高校生が主催する体験イベントを開催する。自治体には、校舎の改修、施設の運営、物品の提供を依頼。

\*高校生は、イベントの開催、広報活動、人材確保を行う。

【質問】

Q. 客の設定はどのくらいか、お年寄りの調理はどのように行うか。

A. カフェと同等と想定しているが、人数までは検討していない。一人前を一人で調理する。“給食”も楽しんでもらいたいので、食前を用意してバイキング形式を楽しんでもらう方法も検討している。

Q. 産校周辺の地域の活性化はできると思うが、岐阜県全体の活性化はできるのか。

A. 土岐小学校を想定している。土岐周辺が活性化し、メディアに取り上げてもらうことで県全体の活性化を図りたい。



興味のある生徒は、職員室・箕浦（SGH担当）まで来てください。